

ライフキャリア教育かながわモデル発信事業【神奈川県】

地域の実情と課題

- 神奈川県は
 - ・全国の中でも長時間労働、長時間通勤の傾向
 - ・M字カーブの谷の底の値、深さともにワースト1⇒管理職に占める女性の割合も低い。
- 本県の若年層は、理想の家庭像として「男女共同参画」が望ましいものの、現実には「育児は女性が中心」と考えており、そうした意識には特に女性の保護者の考え方など、家庭環境の影響が強く現れていることが、意識調査の結果から伺える。

事業の特徴

- 高校生向け啓発冊子及び高校教員向けのリーフレットを作成することにより、高校における取組みの一層の普及を図った。
- 文系・理系など、将来につながる進路選択の手前の段階にいる中学生に向けた取組の普及啓発のため、中学教員向けリーフレットを新たに作成

事業の効果

- 高校でのライフキャリア教育啓発冊子の活用アンケートでは、県内高校の54.1%で活用され、ライフキャリアに関する情報を、自身の進路や将来の働き方・生き方を考える上での参考としていただけた。
- 中学生向けライフキャリア教育プログラムについては、教員向けのリーフレットを作成し、授業の進行例を示すなど、周知啓発を行った。

目的・目標

- 就職前の若年層(高校生、中学生)を対象に、ライフ(生活)とキャリア(仕事)を一体的に考え、固定的性別役割分担に捉われることなく自身のライフプランをデザインする力を育成することで、本県の女性の活躍を一層推進する。

【目標】

高校でのライフキャリア教育啓発冊子の活用
【目標】70.0% ⇒ 【実績】54.1%

連携団体

- 女性活躍推進に関する取組に係る情報交換会
 - ・・・神奈川県労働局、各政令市、(一社)神奈川県経営者協会等と本事業に関する情報提供を行うとともに協力を依頼
- 県内市町村
 - ・・・市町村会議で、本事業に関する情報提供を行うとともに協力を依頼

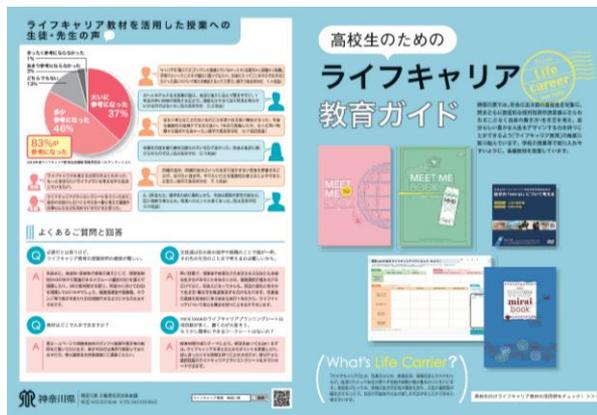
今後の課題

- 県内の多くの高校で、改定後の高校生向け啓発冊子を授業等で活用していただけるよう働きかけを行うことが必要
- 令和元年度に作成した中学生向けプログラムを、県内の中学校に広く周知し活用を促していくことが必要

事業の概要

高校教員向け及び中学教員向けリーフレットの作成

○ライフキャリア教育事業を各学校でさらに活用していただくため、本事業及び教材についての教員向けリーフレットを作成配布し、さらなる周知を図った。



[リーフレットの掲載事項]

- ・教材のねらい、準備手順
- ・授業の進行例
- ・出前講座や試行を体験した生徒の声
- ・アンケート結果
- ・Q&A

高校生向け啓発冊子「mirai book」の印刷配布

○令和元年度に改定した高校生向け啓発冊子について、男女共同参画の視点から、将来の働き方・生き方を具体的に考えるきっかけづくりとなるとともに、高校でより活用してもらえるよう、一部内容を更新し、冊子の印刷配布を行った。

[主な更新事項]

- ・グラフやデータを最新の調査結果を反映させた。
- あわせて、解説も最新の状況を反映させた。

